

製品名: BCR ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87495**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:143 kDa; Observed MW:150 kDa

抗原情報

遺伝子名	BCR
別名	ALL; CML; PHL; BCR1; D22S11; D22S662
遺伝子 ID	613
SwissProt ID	P11274
免疫原	ヒト BCR の組み換えタンパク質

背景

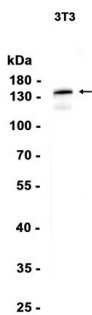
22番染色体と9番染色体間の相互転座により、慢性骨髄性白血病患者によく見られるフィラデルフィア染色体が生じます。この転座

の22番染色体切断点はBCR遺伝子内にあります。この転座により、BCRと9番染色体切断点にある遺伝子ABLの両方の配列からコードされる融合タンパク質が生成されます。BCR-ABL融合タンパク質は広く研究されていますが、正常なBCR遺伝子産物の機能は明らかではありません。このタンパク質はセリン/スレオニンキナーゼ活性を持ち、p21^{rac}のGTPase活性化タンパク質です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



BCR ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した 3T3 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。